

歴史にふれる



日常に溶け込む歴史と文化

日々生活をする中で、ふと気づくと国宝犬山城をはじめとする歴史的に貴重な建物、文化などを身近に感じ触れることができます。

木曾川うかい

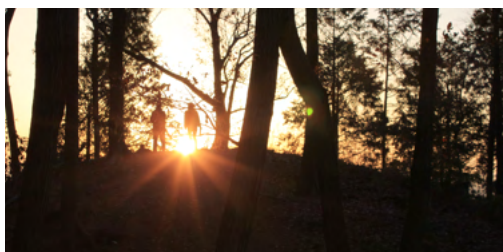
1300年の歴史を誇り、古典漁法を今に伝える「木曾川うかい」。

犬山城を背景に鵜匠の巧みな手縄さばきと鵜が魚を捕まえる様を楽しむことができる、夏の風物詩です。昼うかいも人気です。



青塚古墳

別名「王塚」「茶白山古墳」とも呼ばれる国指定史跡青塚古墳は、4世紀につくられた全長123mの前方後円墳で愛知県内では、2番目の大きさです。発掘調査・復元整備が行われ、階段状の古墳の段に沿って置かれた壺型埴輪など往時の姿を偲ぶことができます。



東之宮古墳

国指定史跡東之宮古墳は3世紀後半に作られた前方後円墳です。発掘調査が行われ、竪穴式石槨内部から三角縁神獸鏡をはじめとする多くの副葬品が出土しています。冬至には古墳の中心軸上から日が昇り、多くの人が訪れます。

国宝犬山城

1537年に織田信長の叔父信康が築城したといわれる犬山城。国宝に指定されている天守は、現存する最古の様式といわれています。木曾川のほとりの小高い山の上に建てられた天守最上階からの眺めはまさに絶景です。旧城郭の一部は平成30年に国史跡に指定されました。



犬山城下町

犬山城下町は「総構え」と呼ばれる城郭構造が特徴で、江戸時代の町割りが見られる。町を散歩するたくさんの観光客で賑わっています。

犬山祭

桜のつぼみがふくらむ頃になると、犬山城下には祭り囃子の練習の音が流れはじめ、町は犬山祭を迎える空気に包まれます。毎年、4月第1土曜日・日曜日に開催される犬山祭は、精巧なからくり人形を載せた華やかな車山(やま)が古い町並みを巡行することで有名です。2016年に全国33件の「山・鉦・屋台行事」のひとつとしてユネスコ無形文化遺産に登録されました。

